

2006(平成18)年度

入学試験問題

公 法

<憲法・行政法>

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 2ページおよび3ページに問題を掲載しています。試験開始後、そのページを確認し、不鮮明なものがあれば直ちに申し出てください。
- 3 解答用紙は2枚です。すべての解答用紙に受験番号、氏名、科目名、研究科名、専攻名を記入してください。
- 4 解答は、科目ごとに所定の解答用紙1枚に記入してください(裏面も使用可)。
- 5 試験問題の内容等について質問がある場合は、手をあげてください。
- 6 問題冊子の余白等は、適宜利用して構いません。
- 7 試験時間は、90分です。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## 憲 法 T

公職の選挙について選挙運動として戸別訪問を認めるが、①運動員は、戸別訪問を行う際には、その氏名、その支持する候補者名および選挙管理委員会の付した登録番号を記載した選挙管理委員会発行の身分証明書を呈示しなければならない、②運動員は、戸別訪問において他の候補者を批判してはならない、という条件を課す法律が制定されたと仮定する。

この法律の憲法上の問題点を論ぜよ。

## 行政法 T

行政行為の裁量について述べなさい。